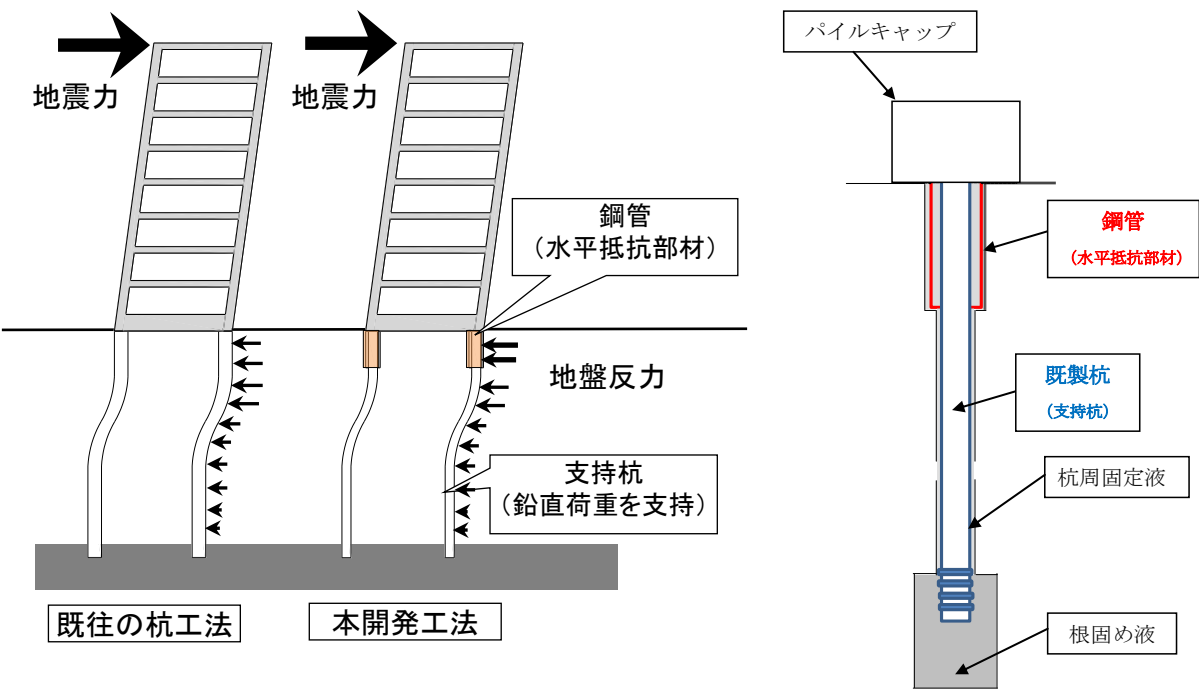


(継続提案)

NO. 19	技術開発 提案名	杭頭部に地震時水平抵抗部材を有する既製杭工法の技術開発		
事業者	・株式会社安藤・間 ・株式会社熊谷組 ・西松建設株式会社 ・株式会社トーヨーアサノ ・三谷セキサン株式会社			
技術開発 経費の総額 (予定)	約 72 百万円	技術高度化 の期間	平成26年度～ 27 年度	
住宅等における環境対策や健康向上に資する技術開発 住宅等におけるストック活用、長寿命化対策に資する技術開発 ■ 住宅等における防災性向上や安全対策に資する技術開発				
背景・目的	鉛直荷重を支持する杭に作用する地震時水平力を軽減し、低コスト化とともに建築物の安全性向上を図る			
<p>■技術開発の概要</p> <p>杭基礎の頭部に地震時水平抵抗部材を設置することで、建物の鉛直荷重を支持する杭に作用する地震時水平力を軽減できる。H26年度に実施した水平載荷試験と施工試験に加えて、H27年度に構造実験および解析的検討を実施し、より確実に支持力を確保することができ、安全性の向上かつ低コスト化も可能な既製コンクリート杭工法の実用化を図る。</p> 				
総評	実験の実施にやや遅滞は認められるが、必要なデータは確実に得られている。最終年度となる今年度は、確実な技術開発の遂行と成果構築を期待する。			